

課題区分 安全管理

携帯を用いた安全管理の取り組み

工事名 R5 阿賀野川堤防管理作業
工事場所 阿賀野川河川事務所管内
会社名 小柳建設株式会社
発表者 神田 憲

1. はじめに

当作業は、阿賀野川河川事務所管内全域の除草作業を実施するもので、延長 38km の広範囲に一次下請け 5 業者が点在して除草作業を行う。

本報告では、当作業で行った携帯を用いた安全管理について報告するものである。

2. 課題・目的

- ・ 本作業は作業員の労務能力に頼った作業が主体となるため、天候が急変または高温になった場合に迅速に対応する必要がある。
- ・ 最大 5 班の作業班が広範囲で作業するため、KY ミーティングを各地で行う事になり安全管理を徹底して実施する必要がある。



3. 取り組み内容

① 作業員に気象情報を迅速に伝達する取り組み

- ・ 朝礼時：気象情報を基に作業員への注意喚起による声掛け。
- ・ 施工時：携帯端末機とアプリを利用した緊急通知による伝達
- ・ 巡視時：夜間の気象を伝達し、作業機械を事前に待避する声掛け



朝礼（人員、健康状態確認）



アクティブネットの使用



通知確認



オールサイトを利用した確認



巡視状況（声掛け）

② アプリの活用

広範囲の作業箇所迅速に情報発信ができるよう、変状確認システムと簡易設置カメラが一体となった「アクティブネット」を使用。

気温、WBGT、風速、雨量の値を測定して、各警戒値及び危険値を超えると下請各社へ貸与した携帯へ自動で警報メールが送信されるため、情報をリアルタイムに提供することができる。

GPS 機能により下請け会社が撮影した写真（人数確認・安全設備の設置状況）データを記録・共有・一元管理することができる「All-Sighte」を使用。

朝礼で人員確認、安全設備を確認することができ、各業者が迅速に作業を開始することができる。



「アクティブネット」設置



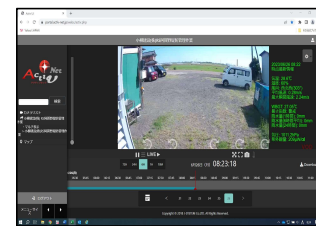
現場での表示画面



現場事務所での利用状況



「All-Sighte」クラウド上での表示



4. 評価・まとめ

高温情報については、作業員がすぐに周知することができ、作業時間・休憩時間を変える対応をすることができた。降雨情報については、ゲリラ豪雨のような局地的に降る事があり、降っていない作業箇所からの作業継続の確認連絡があった。この事から広範囲で作業する場合には改善する余地がある。

All-Sighteを使用した事により5業者の日々の安全管理が確実にできている事を確認できた。また、1箇所集合して朝礼をしてから作業開始と較べて、移動する手間が無い分、作業を迅速に開始できた。今回の取り組みの結果、無事故・無災害で作業を完了した。